

一言で「伸ばし」と言っても実際にはさまざまな事を意識して形を組んでいく必要があります。伸ばしの技術は基本的に凝視が前提の技術であり、また自分のフィールドから出来る可能性を汲み取っていく必要があるため、非常に高難度です。現講座内容の中でも解説が複雑になっていくと思いますが、しっかり意識して上達を目指していきましょう。

★概要

さて、伸ばしといえば複数のパターンに当てはめることが出来ると思います。前置きになるので面倒な方は読み飛ばしましょう。裏側が実際の組み方の例や手順など。

① 相手側が本線を打ってくるタイミング。

- [1]. 序盤・中盤において、こちらの催促で相手が本線を打ってきた。(中盤戦)
- [2]. 終盤において、こちらの催促で相手が本線を打ってきた。(終盤戦)
- [3]. 序盤・中盤において、突如相手が本線を打ってきた。(速攻)
- [4]. 終盤において、突如相手が本線を打ってきた。(見切り本線)

② 相手が本線を打ってきた時点での、こちらの状況。

- [I]. 本線量が劣っていたため、少なくとも5連鎖近く伸ばしにいかなければならない。
- [II]. 本線量が勝っているため、さほど伸ばしに行く必要はなく、確実に本線を打ちにいきたい。
- [III]. 本線は繋げるまでに遠く、必要になるぶよの色数が多い。
- [IV]. 本線は繋げるまでに近く、必要になるぶよの色数は少ない。

//-- その他関連オプション --//

- [V]. 連鎖尾がぐちゃぐちゃで新たに連鎖量を乗せられない。
- [VI]. 連鎖の頭はこれ以上伸ばしに行くのは辛い状況。(カウンターなど)
- [VII]. おじゃまぶよが複数落ちており飽和連鎖量が減っている状況。
- [VIII]. おじゃまぶよは落ちていないが中盤のやり取りで予告ぶよが見えている。

★解説

今回の講座では中盤または序盤の攻防の結果、相手が本線を先うちしてくる、といった状況をピックアップしたいと思います。何故「序盤中盤」と「終盤」2つの区分にしたかという、伸ばせるスペースの問題です。終盤の伸ばしは序盤中盤とはまた違った技術が必要になってくるので、機会があれば別の機会に講座を作成したいと思います。相手が突然先打ちしてきた、という状況は基本的に後打ち側が圧倒的に有利ではありますが、ツモ量に差があった場合やフィールド状況が悪い(例: 折り返しに隙がある状況など)状況にあり得る話でもあります。

②はこちらの伸ばしにおけるフィールドの状況を書き出してみました。さらに細分化は可能ですが複雑化して尚更ややこしくなるため今回はこのような形にしました。

★共通項的な

各項に言えることとして、上記のように時間的猶予があるかないか、状況によって取る選択、(判断、形)が変わってきます。繰り返し練習し、多くの形を覚えて適切な判断を行えるようにしていきましょう!

確実におじゃまを返せる連鎖の目安としては、おおよそ相手の連鎖プラス2連鎖くらい。極力相手のセカンド量では返せないと思えるような量を発火していきましょう。

★止まっていないか凝視を行う。

かなり重要です。相手が本線なのか副砲なのか判別できないと迷いなく伸ばしに移行できません。

本線発火側が意図しない暴発や、対戦上位陣の高度な止め、陽動の技術は仕方ないとしても、キーぶよ外しや同時消しの止めを察知できる凝視力があると確実な判断を行えます。

★実際の連鎖の構築。

裏面からは実際の連鎖の構築やポイントを紹介していきます。

連鎖の構築例

例 1. GTR における同じ色が続く挟み込み。緊急時には特に重宝します。同色連鎖が上部に沢山続いてしまうと、発火点が分かり難くなるので注意。

例 2. 連鎖尾を増強し連鎖の頭は極力そのままに。

もし相手の本線が途中で止まっていても緊急発火できるようになります。連鎖尾技術はただ芸術性が上がるだけというわけではありません。簡易的な潜り込み連鎖尾を折込みつつ連鎖を構築していけると暴発も少なくなり、より確実です。あえて不要色を潜り込ませていくのがポイント。

例 3. 合体を駆使する。

相手の連鎖量が長く続きそうなときで、こちら側が多い連鎖数を求められるパターン。(目安：5連鎖以上。)あまりにスケールの大きい連鎖を組んでしまうと、本線が発火出来ずそのまま終わってしまうことがよくあります。よさ気な配色が来てどうしても伸ばしたくなくても、必要分を見極めてぐっと堪えましょう。

例 4. 時間があまりにも少ない場合はカウンターを考える。

序盤などによくあるパターン。伸ばしの際にだけに留まりませんが覚えておくことで咄嗟の事態にすぐさま対処できるようになります。

① 伸ばしにおける注意点 ①

1. 安易な挟み込みは死を招く

⇒ 特に、相手の本線が残り短い状況で、NEXT2 までに発火色テンパイの状況に出来ない場合(色ぷよが2つ以上見えていない状況)、極力挟み込むことは避けるように。無理せず発火に確実にたどり着ける意識を心がけましょう。

2. 伸ばしに影響する部分を崩しすぎない。

⇒ 折り返し部分、深すぎる溝などを作ってしまうとその修復だけに多くの時間を取られてしまうことがあります。判断を早くする方法や無駄をなくすことも伸ばしの技術。

3. 確実に本線発火にたどり着けるように余裕を持った本線発火を心がける

⇒ 案外本線発火できれば勝ちの場面は多い。

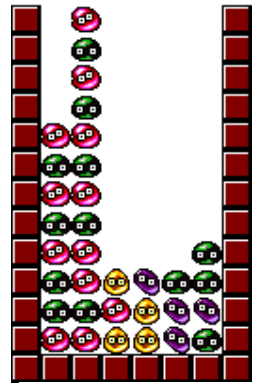
★先読みを行う。

合体、多重折などの先置き後付けの技術を駆使して勿論暴発してしまっても元も子もないので、自分の理解の及ぶ範囲で組んでいくとより確実です。予め3連結や同色が密集している場所などの暴発状況は確認する意識を持つのがポイントです。

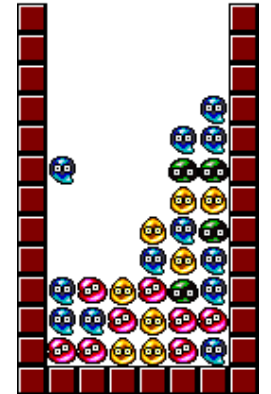
★まとめ

知識よりも形の知識の比重が大きいのがこの伸ばしという技術。形のバリエーション増やしていくことで伸ばしの技術も上達していきます。こんなんできねーよ！って思うかもしれませんが、少しずつでも様々な形を覚え実践できる連鎖技術を習得していきましょう！

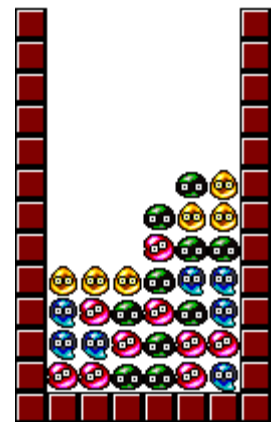
まだまだ書きたいことはありましたがスペースの問題もあるのでこの辺りで。わからないことがあったら製作者に聞いて下さい。



例 1: 連鎖の頭を同色で伸ばす。



例 2: 潜り込み連鎖尾



例 3: 合体。GTR で作るのが基本



例 4: カウンター